

## 兵庫県産木材利用木造住宅特別融資貸付申請書

兵庫県知事 様

下記のとおり相違ありませんので借入申請します。

		申請年月日	
		年	月 日
申請者	フリガナ	生年月日	年齢
	氏名	昭平 年月日	
	フリガナ	電話連絡先	
建設地	住所 (〒 )	( )	
	フリガナ	年 収	万円
職業	1. 商工業等営業主・自営業 2. 会社員 3. 公務員 4. その他 ( )	対象区分	1. 新築住宅建設 2. 新築建売住宅 3. 増改築 4. 既存住宅長寿命化 5. リフォーム
構造	1. 木造 (□在来工法、□その他) 2. その他 (リフォームのみ)	延床面積	m <sup>2</sup> 敷地面積 m <sup>2</sup>
建設費	土地	建物	附帯設備・その他
	万円	万円	万円
資金調達内訳	区分	調達額	年間返済額
	本制度	万円	万円
	その他借入計	万円	万円
	合計	万円	自己資金 万円
利率	当初～25年目	26年～35年目	返済方法
	%	%	1.均等(元利) 2.ボーナス併用
		年収に対する返済負担割合 (年間返済額) 千円 × 100 (年 収) 千円 (%)	
融資限度額 上乗せ要件	<input type="checkbox"/> 県産粘土瓦使用 (様式第7号添付) <input type="checkbox"/> 兵庫県環境配慮型住宅建築 (様式第9号、様式9号別添確認書類添付) <input type="checkbox"/> 高強度梁仕口「Tajima TAPOS」技術活用 (プレカット工場の納品書等の写しを添付)		
県産木材 使用量	新築・増改築・既存住宅長寿命化 県産木材使用量 (m <sup>3</sup> ) / 全木材使用量 (m <sup>3</sup> ) <input type="checkbox"/> 30%以上 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 60%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	既存住宅長寿命化 県産木材による内装木質化 <input type="checkbox"/> 面積 50 m <sup>2</sup> 以上かつ5 m <sup>2</sup> 以上	リフォーム 県産木材による内装木質化 <input type="checkbox"/> 面積 30 m <sup>2</sup> 以上
施工業者	主たる事務所の所在地		
	氏名又は名称		
予定工期	着工日		上棟日
	年 月 日	年 月 日	年 月 日
借入希望日	年 月 日	借入期間	ボーナス併用 万円
【参考】本融資制度を知るきっかけとなった媒体 (複数回答可)			
<input type="checkbox"/> 工務店、住宅販売事業者等 <input type="checkbox"/> 金融機関 <input type="checkbox"/> 住宅情報誌 (誌名: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )			
金融機関記入欄	受付年月日		融資認定額
	受付番号		万円

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資貸付申請書

兵庫県知事 様

下記のとおり相違ありませんので借入申請します。

申請年月日
年 月 日

申請者
フリガナ
氏名
住所
フリガナ
住所
電話連絡先
建設地
フリガナ
住所
年 収

職業
1. 商工業等営業主・自営業 2. 会社員
3. 公務員 4. その他
対象区分
1. 新築住宅建設 2. 新築建売住宅 3. 増改築
4. 既存住宅長寿命化 5. リフォーム

構造
1. 木造 (□在来工法、□その他)
2. その他 (リフォームのみ)
延床面積
敷地面積

建設費
土地
建物
附帯設備・その他
計

資金調達内訳
区分
調達額
年間返済額
期間
利率
返済方法
備考

融資限度額上乗せ要件
□ 県産粘土瓦使用 (様式第7号添付)
□ 兵庫県環境配慮型住宅建築 (様式第9号、様式9号別添確認書類添付)
□ 高強度梁仕口「Tajima TAPOS」技術活用 (プレカット工場の納品書等の写しを添付)

県産木材使用量
新築・増改築・既存住宅長寿命化
県産木材使用量 (m³) / 全木材使用量 (m³)
既存住宅長寿命化
県産木材による内装木質化
リフォーム
県産木材による内装木質化

施工業者
主たる事務所の所在地
氏名又は名称

予定工期
着工日
上棟日
竣工日

借入希望日
年 月 日
借入期間
ボーナス併用

【参考】本融資制度を知るきっかけとなった媒体 (複数回答可)
□ 工務店、住宅販売事業者等 □ 金融機関 □ 住宅情報誌 (誌名: ) □ その他 ( )

金融機関記入欄
受付年月日
受付番号
融資認定額

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資貸付予定者報告書

年 月 日

兵庫県農政環境部農林水産局長 様

(融資機関名)

(代表者)

上記の者を貸付予定者として報告します。

## 兵庫県産木材利用木造住宅特別融資貸付申請書

兵庫県知事 様

下記のとおり相違ありませんので借入申請します。

		申 請 年 月 日								
		年		月		日				
申 請 者	フリガナ	生 年 月 日		年 齢						
	氏名	昭 平 年 月 日								
	フリガナ	電 話 連 絡 先								
建 設 地	住所 (〒 )	( )								
	フリガナ	年 収				万円				
職 業	1. 商工業等営業主・自営業 2. 会社員 3. 公務員 4. その他 ( )	対 象 区 分	1. 新築住宅建設 2. 新築建売住宅 3. 増改築 4. 既存住宅長寿命化 5. リフォーム							
構 造	1. 木造 (□在来工法、□その他) 2. その他 (リフォームのみ)	延 床 面 積	m <sup>2</sup>		敷 地 面 積	m <sup>2</sup>				
建 設 費	土 地	建 物		附帯設備・その他		計				
	万円	万円		万円		万円				
資 金 調 達 内 訳	区 分	調 達 額		年 間 返 済 額		期 間	利 率	返 済 方 法	備 考	
	本 制 度	万円		万円		年	%	%	1.均等(元利) 2.ボーナス併用	
	そ の 他 借 入 計	万円		万円		年収に対する返済負担割合 (年間返済額) 千円 (年 収) 千円 ( ) %				
	合 計	万円		自己資金	万円					
融 資 限 度 額 上 乗 せ 要 件	<input type="checkbox"/> 県産粘土瓦使用 (様式第7号添付) <input type="checkbox"/> 兵庫県環境配慮型住宅建築 (様式第9号、様式9号別添確認書類添付) <input type="checkbox"/> 高強度梁仕口「Tajima TAPOS」技術活用 (プレカット工場の納品書等の写しを添付)									
県 産 木 材 使 用 量	新築・増改築・既存住宅長寿命化 県産木材使用量 (m <sup>3</sup> ) / 全木材使用量 (m <sup>3</sup> ) <input type="checkbox"/> 30%以上 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 60%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上			既存住宅長寿命化 県産木材による内装木質化 <input type="checkbox"/> 面積 50 m <sup>2</sup> 以上かつ5 m <sup>2</sup> 以上			リフォーム 県産木材による内装木質化 <input type="checkbox"/> 面積 30 m <sup>2</sup> 以上			
施 工 業 者	主たる事務所の所在地									
	氏名又は名称									
予 定 工 期	着 工 日		上 棟 日		竣 工 日					
	年 月 日		年 月 日		年 月 日					
借 入 希 望 日	年	月	日	借 入 期 間	年	ボ ー ナ ス 併 用	万円			
【【参考】本融資制度を知るきっかけとなった媒体 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 工務店、住宅販売事業者等 <input type="checkbox"/> 金融機関 <input type="checkbox"/> 住宅情報誌 (誌名: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )										
金 融 機 関 記 入 欄	受 付 年 月 日		受 付 番 号		融 資 認 定 額		万円			
兵庫県産木材利用木造住宅特別融資貸付受付通知書 年 月 日 兵庫県農政環境部農林水産局長 様 (融資機関名) (代表者) 上記の貸付申請を受け付けましたので、通知します。										

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資貸付認定通知書

令和 年 月 日

(申請者名) 様

兵庫県知事

あなたが借入申込みされた住宅融資について、次のとおり貸付認定したので通知します。

貸付認定番号	—
対象区分	
融資予定金額	万円
金融機関名	

(融資を受けるにあたって)

- 1 資金は、抵当権設定等完了後、上記の融資機関から交付されます。
- 2 融資限度額は、対象区分が新築、増改築、または建売の場合は2,300万円（ただし県産木材使用割合が80%以上の場合。60%以上80%未満の場合は2,000万円。50%以上60%未満の場合は1,500万円。30%以上50%未満の場合は1,200万円。）、リフォームの場合は500万円です。  
ただし、県産粘土瓦を使用して50㎡以上の屋根を葺く場合には、上限が200万円上乗せされます。環境配慮型住宅の建設又はリフォームをする場合には、上限が500万円（リフォームは200万円）上乗せされます。また、県産木材を80%以上使用し、かつ高強度梁仕口「Tajima TAPOS」技術を活用する場合（リフォームは除く）には、上限が200万円上乗せされます。
- 3 次の各号のいずれかに該当することとなったときは、融資を受けられなくなります。
  - (1) 県産木材・ひょうご県産認証木材製品使用住宅証明書の交付が取り消されたとき。
  - (2) 貸付申込書記載事項等に金融機関が融資不相当と判断する変更があったとき。
  - (3) 不正な行為があったとき。
- 4 貸付認定の有効期間は、1年間です。

様式第 3 号

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資貸付認定通知書

令和 年 月 日

(融資機関名) 様

兵庫県農政環境部農林水産局長

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度要綱第 8 の規定により、貸付認定者を下記のとおり通知します。

記

氏 名	対象区分	融 資 認 定 内 容			備 考
		認定年月日	認定番号	融資予定額	
				(万円)	

※ 対象区分には、新築、増改築、建売、リフォームの別を記入する。

## 県産木材（ひょうご県産認証木材製品）使用住宅証明申請書

年 月 日

兵庫県木材業協同組合連合会会長 様

申請者 住所  
氏名  
電話番号  
メールアドレス

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度による資金の貸付を受けたいので、次の建築物が県産木材（ひょうご県産認証木材製品）使用の住宅であることの証明を願いたく、関係書類を添えて申請します。

1 建築場所			
2 施業者	主たる事務所の所在地		
	氏名又は名称		
3 上棟予定年月日	年 月 日	1. 新築	2. 増改築
4 既存住宅長寿命化、リフォーム完了予定年月日	年 月 日		
5 納材者			
(添付書類)	(1) 納材証明書(様式第5号) (2) 建築場所の案内略図	(3) 木拾い表 (4) 工事図面 (既存住宅長寿命化・リフォーム工事のみ必要)	(5) 特認木造住宅認定通知書(様式16号) (知事が特別に認めた木造住宅のみ必要)

(No. - )

## 県産木材（ひょうご県産認証木材製品）使用住宅証明書

上記の住宅は、兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度要綱第4の2に該当する県産木材（ひょうご県産認証木材製品）使用住宅であることを証明します。

(新築・増改築) 県産木材使用割合 \_\_\_\_\_ % (ひょうご県産認証木材製品の 有・無)

(既存住宅長寿命化) 県産木材使用割合 \_\_\_\_\_ % (ひょうご県産認証木材製品の 有・無)

県産木材による内装木質化面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

県産木材による内装木質化材積 \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>

(リフォーム) 県産木材による内装木質化面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

年 月 日

兵庫県木材業協同組合連合会会長

なお、この証明書は兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度要領第10の規定に基づくもので、金融機関からの資金借入れを保証するものではありません。

# 納 材 証 明 書

令和 年 月 日

申請者 住所  
氏名 様  
納材者 主たる事務所の所在地  
氏名又は名称  
電 話 番 号  
メールアドレス

建築場所				
施工業者	主たる事務所の所在地		氏名又は名称	
延床面積	住宅部分	㎡	併用部分	㎡
納 材 内 容 (m <sup>3</sup> )				
部 材 名	県 産 木 材	外材・他県製材	合 計	県産木材の入手先 (産地・素材・製材品等の取扱業者名等)
構 造 材 (内、ひょうご県産認証木材製品)	(内、 )		(内、 )	① 製品市場名等 ② 製材業者名 ③ 原木木材市場名 ④ 素材生産業者名 ⑤ 生産地 (市町名)
造 作 材				
下 地 材				
そ の 他				
合 計	A (内、 )		B (内、 )	
既存住宅長寿命化、リフォームに伴う県産木材の納材量			m <sup>3</sup>	※当欄が不足する場合は別紙を添付すること

## 兵庫県木材業協同組合連合会記入欄

県産木材使用量 (A)	m <sup>3</sup>	確 認 結 果
(内、ひょうご県産認証木材製品)	m <sup>3</sup> )	
全木材使用量 (B)	m <sup>3</sup>	
県産木材使用率 (A ÷ B × 100)	%	
県産木材による内装木質化面積	m <sup>2</sup>	
確認	年 月 日	
氏名		

注1: この証明書は、県産木材・ひょうご県産認証木材製品使用住宅証明申請書 (様式第4号) を提出するときに添付すること。  
 2: 「県産木材」とは、兵庫県内の森林で生産された丸太を原材料として、県内の製材業者等で加工された製品のことをいいます。ただし、県内で加工出来ない製品については、県内の森林で生産された丸太を原材料として使用している製品であることを証明できる場合は、県産木材とみなすことができます。

(様式第5号 別紙)

## 県産木材の入手先

①製品市場等	名称					
	所在地					
②製材業者	名称					
	所在地					
③原木市場	名称					
	所在地					
④素材生産業者	名称					
	所在地					
⑤生産地(市町名)						

- 1 所在地は市町名まで記入すること。
- 2 入手先が複数にわたる場合は、それぞれ別に記入すること。



令和 年 月 日

兵庫県農政環境部農林水産局長 様

(融資機関名)

令和 年度兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度要領第13の規定により、融資実行状況を下記のとおり報告します。

記

1 今月融資実行状況 (令和 年 月末現在)

区 分	前月末報告累計	今月分報告	今月末累計	備 考
融資実行件数 (繰上償還件数)	件 ( 件)	件 ( 件)	件 ( 件)	
融資実行金額 (繰上償還金額)	円 ( 円)	円 ( 円)	円 ( 円)	

※繰上償還の場合は、備考欄に一括または一部の別を記入する

2 融資実行者名簿・償還者名簿 (別添)

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資実行者名簿

貸付認定番号	対象区分	氏名	認定年月日	融資金額（千円）	ボーナス払い金額（千円）	融資実行年月日	第1回支払日	第1回ボーナス支払日	返済回数
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									
-									

注1 対象区分は、新築、増改築、建売、既存住宅長寿命化、リフォームの別を記入してください。  
 2 融資金額及びボーナス支払金額は千円単位で記入して下さい。

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資償還者名簿

貸付認定番号	対象区分	氏名	認定年月日	融資金額（千円）	ボーナス払い金額（千円）	融資実行年月日	返済年月日	返済金額（円）	一部繰上償還の場合の 支払い方法（下記から選択）
									①期間短縮方式（毎月返済額据置） ②期間据置方式 ③ボーナス部分全額償還方式
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）
-	一括 ・ 一部								①（ ）②（ ）③（ ）

注1 対象区分は、一括償還、一部償還の別を記入してください。  
 2 融資金額及びボーナス支払金額は千円単位で記入して下さい。

様式第7号

県産粘土瓦使用確認書

令和 年 月 日

(融資機関名)

様

施工業者 住所  
氏名  
電話番号  
E-mail

本住宅工事で使用する県産粘土瓦の内容については、次のとおり確認いたします。

1 住宅の建築主  
住所  
氏名

2 住宅の所在地

3 屋根面積（50㎡以上を対象とする）

\_\_\_\_\_㎡

4 使用する県産粘土瓦の製造業者  
住所  
業者名

5 使用する瓦の種類（例：いぶし瓦 和形53判）

県産粘土瓦使用証明書

令和 年 月 日

様

淡路瓦工業組合 住所  
代表者名  
電話番号  
E-mail

瓦製造業者 住所  
氏名  
電話番号  
E-mail

本住宅工事で使用した瓦は県産粘土瓦であることを証明いたします。

1 住宅の建築主  
住所  
氏名

2 住宅の所在地

3 屋根面積（50㎡以上を対象とする）

\_\_\_\_\_㎡

4 使用した瓦の種類（実枚数を記入して下さい）  
（例：いぶし瓦 和形53判 実枚数2,000枚）

## 兵庫県環境配慮型住宅建設確認書

この確認書は施主の方が建築士及び施工者等の方と相談し、確認の上ご記入ください。

区分	項目	確認事項	該当項目 (○印を記入)
①地球環境の保全	1 「温熱環境に関すること」	1 「住宅性能表示制度」の設計住宅性能評価書において、「温熱環境・エネルギー消費量に関すること」の項目中「断熱等性能等級」が3以上の住宅であること。	はい・いいえ
	2 高効率設備機器	2 省エネルギー及び自然エネルギー型暖・冷房設備・給湯設備等 商品名 ( )	はい・いいえ
②居住環境の健康快適性	3 「空気環境に関すること」	3 「住宅性能表示制度」の設計住宅性能評価書において、「空気環境に関すること」の項目中「ホルムアルデヒド発散等級」が2以上又は「ホルムアルデヒド発散等級」に結果の記載がない住宅であること。	はい・いいえ
	4 「構造の安定に関すること」	4 「住宅性能表示制度」の設計住宅性能評価書において、「構造の安定に関すること」の項目中「耐震等級」が2以上の住宅であること。	はい・いいえ
③周辺環境との親和性	5 太陽エネルギーの利用	5 太陽光発電設備 ( k w ) 商品名 ( )	はい・いいえ
	6 環境共生に関すること	6 グラスパーキング等の十分な緑化や雨水利用装置等雨水の有効利用等が行われている住宅 グラスパーキング等 (緑化可能率 %) 雨水利用装置 (商品名 ) その他 (商品名 )	はい・いいえ
<p>* 確認事項を証明する書類等の添付 1、3、4については設計住宅性能評価書の写し、2、5、6については設置する機器の商品名を記入し、その商品の性能特徴のわかるカタログの写し、見積書の写し、設置位置図の写しを添付すること。</p>			

年 月 日

(金融機関名) 様

上記確認事項について虚偽のないことを誓約します。

(施主) 住 所  
氏 名  
T E L  
住宅の所在地

(施工者・建築士等) 住 所  
会 社 名  
代表者名  
T E L

様式第10号

## 償還方法変更実施報告書

令和 年 月 日

兵庫県農政環境部農林水産局長 様

(融資機関名)

償還方法を変更した借入者		
貸付認定番号		
氏 名		
融資実行日	年	月
償還方法変更日	年	月
変更時点での融資残高 (ボーナス除く)	円	
変更時点でのボーナスの残高	円	
償還方法を変更した理由		
償還方法		
	変更前	変更後
最長償還期間の範囲内で償還期間の延長 (420回以下)	回	回
元金据置期間 (36回以下)	回	

※償還方法の変更理由を確認した書類 (例: 災害時の罹災証明書) の写しを添付してください。

様式第 11 号

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資における居住用二地域住宅申立書

令和 年 月 日

(融資機関名)

様

住所

氏名

兵庫県木材利用木造住宅特別融資で申請している居住を目的とした一時的な2カ所目の住宅については、下記のとおり相違ありません。

記

- 1 居住を目的とした一時的な2カ所目の住宅が必要な理由
- 2 居住を目的とした一時的な2カ所目の住宅に居住開始予定時期
- 3 居住を目的とした一時的な2カ所目の住宅建設予定地住所

※二地域居住用住宅に居住を開始した時は住民票（写）を提出すること



特認木造住宅施工業者登録申請書

令和 年 月 日

兵庫県知事 井戸敏三 様

施工業者  
住所  
会社名  
代表者名

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度による特認住宅施工業者に登録したいので、兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度実施要領第14の1の(1)の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 申請者

会社名			
代表者名			
所在地	〒		
TEL		FAX	
E-mail			

2 特認木造住宅の認定を申請しようとする木造住宅の概要

着工予定日	年 月 日	上棟予定日	年 月 日
建設予定地			
住宅の区分※	<input type="checkbox"/> 伝統木造構法を採用した木造住宅 <input type="checkbox"/> 山の立木段階から部材にこだわった木造住宅		

※ 認定を受けようとする住宅の区分にを入れて下さい)

3 添付書類(添付した書類にを入れてください)

- 特認木造住宅施工業者登録基準調査表(別紙)
- 建設業法第3条第1項の規定による許可に係る通知書の写し1部  
若しくは同項の規定による許可を受けたことを証する書類の写し1部

登録基準調査票

1 直近3年間の関係法令の違反歴

関係法令の違反歴 (直近3年間)	無	・	有
---------------------	---	---	---

(注1) 関係法令: 建築基準法、建築士法、建設業法等

2 県産木材利用木造住宅の施工実績(直近3年間)

区分	年度					
	平成	年度	平成	年度	平成	年度
総数		棟		棟		棟
伝統木造構法を採用した木造住宅		棟		棟		棟
山の立木段階から部材にこだわった木造住宅		棟		棟		棟

(注1) 『伝統木造構法を採用した木造住宅』とは、可能な限り県産木材を使用し、①伝統的な継手・仕口の使用②貫工法を使用③主要な壁は土塗り壁④和瓦又は茅葺等伝統的素材を用いる木造住宅。

(注2) 『山の立木段階から部材にこだわった木造住宅』とは、可能な限り県産木材を使用し、施主とともに、部材の一本々を山で選別・採材し、一本毎に製材加工した部材を使用する木造住宅。

(注3) 直近3年間のうち『伝統木造構法を採用した木造住宅』又は、『山の立木段階から部材にこだわった木造住宅』の施工実績が最低1棟以上あること。

3 『伝統木造構法を採用した木造住宅』又は『山の立木段階から部材にこだわった木造住宅』の施工実績の確認

年度	建設地(市町のみ)	施工期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日			
総木材使用量 a	m <sup>3</sup>	うち 県産木材使用量 b	m <sup>3</sup>	県産木材使用割合 (b÷a×100)	%	
県産木材の証明方法						
県産木材を利用できない理由						
住宅の区分	伝統木造構法を採用した木造住宅を建築した場合	取組内容	<input type="checkbox"/> 伝統的な継手・仕口の使用 <input type="checkbox"/> 貫工法を使用 <input type="checkbox"/> 主要な壁は土塗り壁を使用 <input type="checkbox"/> 和瓦又は茅葺き等伝統的素材を使用 <input type="checkbox"/> その他( )			
	山の立木段階から部材にこだわった木造住宅を建築した場合	取組内容	<input type="checkbox"/> 施主とともに部材一本々の選木を実施 <input type="checkbox"/> 施主とともに採材を実施 <input type="checkbox"/> 施主とともに、部材一本々の製材加工を実施 <input type="checkbox"/> その他( )			

(注1) 2 県産木材利用木造住宅の施工実績で記載した『伝統木造構法を採用した木造住宅』又は、『山の立木段階から部材にこだわった木造住宅』のうち1棟を選択して記載。

(注2) 県産木材以外を使用した理由欄には、県産木材以外を使用した品目毎に、具体的に記載すること。

写真を貼付	写真を貼付
項目	項目
施工日 担当技術者	施工日 担当技術者
写真を貼付	写真を貼付
項目	項目
施工日 担当技術者	施工日 担当技術者
写真を貼付	写真を貼付
項目	項目
施工日 担当技術者	施工日 担当技術者

(注3) 取組内容欄で選択した項目毎に、少なくとも1つ以上は記載すること。

(注4) 写真が無い場合は、図面等を記載すること。

(注5) 担当技術者は『5 専門的な技術やノウハウを持った技術者を有していることの確認』に記載する技術者であること。

## 4 ひょうご認証木材製品※を使用できない理由(JAS認定工場を経由できない理由は必須)

--

※県産木材でかつJAS規格に適合したスギ、ヒノキ構造用製材品のうち、木造住宅の建築によく利用される柱や間柱など製材品14品目及び構造用合板について、兵庫県木材業協同組合連合会が認証した木材製品のこと。

## 5 専門的な技術や専門的なノウハウを持った技術者を有していることの確認

技術者名	保有資格	実務経験	
		期間	内容

(注1) 申請時に雇用関係にある技術者のみ記載すること。

(注2) 保有資格の欄には、専門的な技術やノウハウを持っていることを証明する1級建築士、2級建築士、木造建築士、1級大工建築技能士等のほか、大工育成塾指導棟梁の経験やヘリテージマネージャーへの登録などがあれば記載すること。

(注3) 実務経験の内容欄には、直近3年間の実務経験の内容を具体的に記載すること。

様式第13号

特認木造住宅施工業者(変更)登録通知書

令和 年 月 日

特認木造住宅施工業者 様

兵庫県知事 井戸 敏三

先に提出のあった登録申請を審査した結果、兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度実施要領第14の1の(2)の規定により、下記のとおり特認木造住宅施工業者に登録したので、通知します。

記

特認木造住宅施工業者登録年月日	
特認木造住宅施工業者登録番号	
会社名	
代表者名	
住所又は所在地	
専門的な技術やノウハウを持った技術者	

特認木造住宅施工業者登録事項変更届出書

令和 年 月 日

兵庫県知事 井戸敏三様

住所又は所在地

会社名

代表者名

電話番号

E-mail

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度要領第14の3の(1)の規定により、下記のとおり登録事項の変更を届け出します。

記

特認木造住宅施工業者登録年月日	
特認木造住宅施工業者登録番号	
変更のあった内容	
理由 (変更の経緯等)	

(注) 変更内容を確認できる書類(例:会社移転後の登記簿謄本)の写しを添付してください。

特認木造住宅認定申請書

令和 年 月 日

兵庫県知事 井戸敏三 様

特認木造住宅施工業者  
 住所  
 会社名  
 代表者名  
 融資の貸付を受けようとする者  
 住所  
 氏名

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度による特認木造住宅の認定を受けたいので、兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度実施要領第14の2の(1)の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 申請者

特認木造住宅施工業者	特認木造住宅施工業者登録番号			
	会社名			
	代表者名			
	住所	〒		
	TEL		FAX	
	E-mail			
	専門的な技術やノウハウを持った技術者			
融資の貸付を受けようとする者	氏名			
	住所	〒		
	TEL		FAX	
	E-mail			

2 この申請書並びに添付書類は、両者合意の上、作成したものであり、その内容に相違ありません。

特認木造住宅施工業者

会社名

代表者名

融資の貸付を受けようとする者

氏名

3 添付書類(添付した書類に☑を入れてください)

- 特認木造住宅認定基準調査表(様式第15号 別紙)
- 建築工事請負契約書の写し  仕様書  工事図面(平面、立面、配置図等)
- 案内略図(伐採現場、製材工場、建設地等)  木拾い表
- その他(申請する住宅が特認木造住宅の認定要件に適合していることを確認できる書類)

特認木造住宅認定基準調査票

1 申請住宅の基本情報

住宅の区分	<input type="checkbox"/> 伝統木造構法を採用した木造住宅		<input type="checkbox"/> 山の立木段階から部材にこだわった木造住宅			
建設地						
対象区分	1新築	2増改築	延床面積	敷地面積		
予定 木材使用量	県産木材使用割合 (a÷b×100) _____ %					
	部材名	県産木材(m3) ひょうご県産 認証木材	県産木材以外の国 産材(m3)	外材(m3)	計(m3)	
	構造材					
	造作材					
	下地材					
	その他					
	合計	a			b	
予定工期	平成 年 月 日～平成 年 月 日		上棟予定年月日	平成 年 月 日		
建設費	円					
内訳	木材費	円	木工事費	円	その他	円

(注1) 総木材使用量のうち県産木材使用量が50%以上であること。

2 県産木材を利用できない理由の概要

主要な部材	理由

(注1) 説明資料を添付すること。(様式任意)

3 ひょうご県産認証木材製品※を使用できない理由の概要

主要な部材	理由

(注1) 説明資料を添付すること。(様式任意)

※「ひょうご県産認証木材製品」は、県産木材でかつJAS規格に適合したスギ、ヒノキ構造用製材品のうち、木造住宅の建築によく使用される柱や間柱など製材品14品目及び構造用合板4品目について、兵庫県木材業協同組合が認証した木材製品のことで。

4 住宅の概要(別紙2により、その内容を記載)

伝統木造構法 を採用した木造 住宅を建築する 場合	<input type="checkbox"/> 伝統的な継手・仕口の使用 <input type="checkbox"/> 貫工法を使用 <input type="checkbox"/> 主要な壁は土塗り壁を使用 <input type="checkbox"/> 和瓦又は茅葺き等伝統的素材を使用 <input type="checkbox"/> その他( )
山の立木段階 から部材にこだ わった木造住 宅を建築する 場合	<input type="checkbox"/> 施主とともに部材一本々の選木を実施 <input type="checkbox"/> 施主とともに採材を実施 <input type="checkbox"/> 施主とともに、部材一本々の製材加工を実施 <input type="checkbox"/> その他( )



住宅の詳細欄で選択した項目が確認できる図面や写真等を添	住宅の詳細欄で選択した項目が確認できる図面や写真等を添
項目名	項目名
施工予定日 担当技術者	施工予定日 担当技術者
住宅の詳細欄で選択した項目が確認できる図面や写真等を添	住宅の詳細欄で選択した項目が確認できる図面や写真等を添
項目名	項目名
施工予定日 担当技術者	施工予定日 担当技術者
住宅の詳細欄で選択した項目が確認できる図面や写真等を添	住宅の詳細欄で選択した項目が確認できる図面や写真等を添
項目名	項目名
施工予定日 担当技術者	施工予定日 担当技術者

(注2) 認定要件欄で選択した要件毎に、少なくとも1つ以上は記載すること。

(注3) 担当技術者は特認木造住宅施工業者登録通知書に記載のある技術者であること。

## 5 認証木材対象部材の確認表

NO	名称	樹種	寸法			数量	材積 (m <sup>3</sup> )	木材の産地 (いずれかに☑を入れてください) <input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材	県産木材が使用できない理由 (説明資料を添付)	ひょうご認証木材が使用できない理由 (説明資料を添付)	摘要
			厚さ (cm)	巾 (cm)	長さ (m)						
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				

(注1) 対象となる部材は、ひょうご県産認証木材製品の使用を必要とする製材品14品目及び構造用合板4品目の全てとする。

(注2) 必要に応じて、別紙を追加すること。

6 認証木材対象部材の品質基準等確認表(部材毎に基準等を満たす場合は“○”印を、満たしていない場合は“×”印を記載すること)

NO	名称	樹種	寸法			材積 (m <sup>3</sup> )	項目 基準	産地 県産材・ その他国 産材・外 材の別を 記載	寸歩精度 不足がないこと 未乾燥材: 許容誤差 0≤+3.0mm以内 乾燥材: 許容誤差 0≤+1.5以内	含水率 仕上げ材 20%以下 未仕上げ材 25%以下	丸み	曲がり	貫通割れ	腐朽	節	
			厚さ (cm)	巾 (cm)	長さ (m)						数量	辺長に対する丸みを帯 びた箇所長さ割合	材長に対する矢高の 割合	材長に対する割れた 長さの割合	腐れのある材面面積 に対する腐れの部分	節のある材面の幅に 対する節の径
												10%以下	0.1%以下	ないこと	ないこと	30%以下

(注1) 対象となる部材は、ひょうご県産認証木材製品の使用を必要とする製材品14品目及び構造用合板4品目の全てとする。

(注2) いづれの項目も表中基準を満たすことを原則とする。但し、寸法精度及び含水率の項目については、基準を満たさないものの部材の収縮や変形等によって支障が生じないような工法や技術上の工夫を採用している場合は、その内容が分かる資料を添付すること。(様式任意)

(注3) 必要に応じて、別紙を追加すること。

特認木造住宅認定通知

令和 年 月 日

特認木造住宅施工業者 様  
融資の貸付を受けようとする者 様

兵庫県知事 井戸敏三

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度実施要領第14の2の(2)の規定により、下記のとおり認定したので通知します。

記

特認木造住宅認定年月日	
特認木造住宅認定番号	
建設地	

(確認報告)

- 1 認定通知を受けた者は連名で、住宅完成後速やかに又は、認定要件が確認できる時期のいずれか早い日に、特認木造住宅実施報告書を知事に提出しなければならない。  
また、知事は、必要があると認めたときは、その職員若しくは審査会の委員を、特認木造住宅の建設場所その他関係場所に派遣し、現場確認を行う。

(有効期間)

- 2 特認木造住宅の認定期間は、認定を受けた日から2年間です。

特認木造住宅実施報告書

令和 年 月 日

兵庫県知事 井戸敏三 様

特認木造住宅施工業者  
住所  
会社名  
代表者名  
融資の貸付を受けようとする者  
住所  
氏名

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度実施要領第14の2の(3)の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 報告者の情報

特認木造住宅施工業者	特認木造住宅施工業者登録番号			
	会社名			
	代表者名			
	住所			
	TEL		FAX	
	E-mail			
	専門的な技術やノウハウを持った技術者			
融資の貸付を受けようとする者	氏名			
	住所			
	TEL		FAX	
	E-mail			

2 この報告書及び添付書類は、両者確認の上、作成したものであり、その内容に相違ありません。

特認木造住宅施工業者

会社名

代表者名

融資の貸付を受けようとする者

氏名

3 添付書類(添付した書類に☑を入れてください)

特認木造住宅実施確認調査表(様式第17号 別紙)

特認木造住宅実施確認調査票

1 特認木造住宅の基本情報

特認木造住宅認定年月日		特認木造住宅認定番号				
建設地						
対象区分	1新築	2増改築	敷地面積			
木材使用量	県産木材使用割合 (a÷b×100) _____ %					
	部材名	県産木材(m3) ひょうご県産 認証木材	県産木材以外の国 産材(m3)	外材(m3)	計(m3)	
	構造材					
	造作材					
	下地材					
	その他					
	合 計	a			b	
着工年月日	平成 年 月 日～平成 年 月 日	上棟年月日	平成 年 月 日			
建設費	円					
内訳	木材費	円	木工事費	円	その他	円

(注1) 総木材使用量のうち県産木材使用量が50%以上であること。

2 県産木材を利用できなかった理由の概要

主要な部材	理 由

(注1) 説明資料を添付すること。(様式任意)

3 ひょうご県産認証木材製品※を使用できなかった理由の概要

主要な部材	理 由

(注1) 説明資料を添付すること。(様式任意)

※「ひょうご県産認証木材製品」は、県産木材でかつJAS規格に適合したスギ、ヒノキ構造用製材品のうち、木造住宅の建築によく使用される柱や間柱など製材品14品目及び構造用合板4品目について、兵庫県木材業協同組合が認証した木材製品のことで。

4 住宅の概要(別紙1の2により、その内容を記載)

伝統木造構法を採用した木造住宅を建築する場合	<input type="checkbox"/> 伝統的な継手・仕口の使用 <input type="checkbox"/> 貫工法を使用 <input type="checkbox"/> 主要な壁は土塗り壁を使用 <input type="checkbox"/> 和瓦又は茅葺き等伝統的素材を使用 <input type="checkbox"/> その他( )
山の立木段階から部材にこだわった木造住宅を建築する場合	<input type="checkbox"/> 施主とともに部材一本々の選木を実施 <input type="checkbox"/> 施主とともに採材を実施 <input type="checkbox"/> 施主とともに、部材一本々の製材加工を実施 <input type="checkbox"/> その他( )

【別紙1の2】

住宅の概要欄で選択した項目が確認できる実績写真等を添付	住宅の概要欄で選択した項目が確認できる実績写真等を添付
項目名	項目名
施工予定日 担当技術者	施工予定日 担当技術者
住宅の概要欄で選択した項目が確認できる実績写真等を添付	住宅の概要欄で選択した項目が確認できる実績写真等を添付
項目名	項目名
施工予定日 担当技術者	施工予定日 担当技術者
住宅の概要欄で選択した項目が確認できる実績写真等を添付	住宅の概要欄で選択した項目が確認できる実績写真等を添付
項目名	項目名
施工予定日 担当技術者	施工予定日 担当技術者

(注1) 住宅の概要欄で選択した項目毎に、少なくとも1つ以上は記載すること。

(注2) 担当技術者は特認木造住宅施工業者登録通知書に記載のある技術者であること。

## 5 認証木材対象部材の確認表

NO	名称	樹種	寸法			数量	材積 (m3)	木材の産地 (いずれかに☑を入れてください) <input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材	県産木材が使用できなかった理由 (説明資料を添付)	ひょうご認証木材が使用できなかった理由 (説明資料を添付)	摘要
			厚さ (cm)	巾 (cm)	長さ (m)						
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				
							<input type="checkbox"/> 県産材 <input type="checkbox"/> それ以外の国産材 <input type="checkbox"/> 外材				

(注1) 対象となる部材は、ひょうご県産認証木材製品の使用を必要とする製材品14品目及び構造用合板4品目の全てとする。

(注2) 必要に応じて、別紙を追加すること。



6 認証木材対象部材の品質基準等確認表(部材毎に基準等を満たす場合は“○”印を、満たしていない場合は“×”印を記載すること)

NO	名称	樹種	寸法			数量	材積 (m3)	項目 基準	産地 県産材・ その他国 産材・外 材の別を 記載	寸歩精度 不足がないこと 未乾燥材: 許容誤差 0 ≦ +3.0mm以内 乾燥材: 許容誤差 0 ≦ +1.5以内	含水率 仕上げ材 20%以下 未仕上げ材 25%以下	丸み		曲がり		貫通割れ		腐朽		節	
			厚さ (cm)	巾 (cm)	長さ (m)							辺長に対する丸みを帯 びた箇所長さ割合	材長に対する矢高の 割合	材長に対する割れた 長さの割合	腐れのある材面面積 に対する腐れの部分	節のある材面の幅に 対する節の径					
																				10%以下	0.1%以下

(注1) 対象となる部材は、ひょうご県産認証木材製品の使用を必要とする製材品14品目及び構造用合板4品目の全てとする。

(注2) いずれの項目も表中基準を満たすことを原則とする。但し、寸法精度及び含水率の項目については、基準を満たさないものの部材の収縮や変形等によって支障が生じないような工法や技術上の工夫を採用している場合は、その内容が分かる資料を添付すること。(様式任意)

(注3) 必要に応じて、別紙を追加すること。

様式第18号

特認木造住宅実施報告確認書

令和 年 月 日

特認木造住宅施工業者 様  
融資の貸付をうけようとする者 様

兵庫県知事 井戸敏三

兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度実施要領第 14 の2の(4)の規定により、下記  
おり特認木造住宅の実施報告を確認したので通知します。

記

認定番号	
認定年月日	